

太平洋アカイカ漁場調査

石川 哲・蛭名 政仁・赤羽 光秋

発表誌名

イカ釣漁場開発調査資料VI

35～49 P, 昭和55年度スルメイカ太平洋群の南下移動について

抄 録

- (1) 1980年の太平洋北上群は、 145°E を軸として北に張出す黒潮分派に沿って北上し、7～8月に主群は道東沿岸海域に接岸したが、この時期に群の一部は、三陸沿岸及び道南海域にも接岸し漁獲された。
- (2) 7～8月の群の来遊後、顕著な後続補給群は出現しなかった。
- (3) 道東沿岸に出現した主群は、約2ヶ月間この海域に滞泳して、9月中旬から南下を開始し、大部分が9月いっぱいまで海域から南下、移動した。
道東沿岸海域からの南下移動経路としては、日本海の一部を含む津軽海峡周辺海域と、岩手県～宮城県の三陸南部沿岸域とに分かれ、このうち前者への移動割合が高かった。
- (4) 1980年の太平洋北上群は冬生まれ群で、この群の出現海域は、太平洋側の各主要スルメイカ漁場はもとより、津軽海峡内及び同海峡西側の日本海沿岸漁場にまで及んでいた。